## リハビリテーション総合実施計画書

										計画語	平価実施日	1: 年	月	日
患者氏名	<b>:</b>		男·女	生年月	目(西曆)		年	月	月(	歳)	利き手	右・右(矧	喬正)・	左
主治医		リハ担当医		PT		ОТ		ST		看護		SW等		
診断名、阝	章害名(発症	臣日、手術日、診	断日):	合併症	(コントロー	ル状態)	:		j	リハビリテ・	- -ション歴:			
日常生活自立度: J1、J2、A1、A2、B1、B				2, C1, C	2、C1、C2   認知症高齢者の日常生活自立度判定基準: I, II a, II b, III a, III b, IV, M									
評価項目・内容(コロン()の後ろに具体的内容を記入)							短期	期目標	(?	r月後)	具	体的アプロ	ーチ	
□意識障害 (JCS、GCS): □見当識障害: □記報時害:														

評価項目・内容(コロンじ)の後ろに具体的内容を記入)						短期目標(ヶ月後)	具体的アプローチ
	基     起き上がり(       本     座位(       動     立ち上がり(	系: 系(構音: 限: □自立: □自立: □自立: □自立:	、失語) Z	邵介助 [ 邵介助 [ 邵介助 [ 邵介助 [	□全介助 ): □全介助 ): □全介助 ): □全介助 ): □全介助 ):		
			とその 一部	1	動時のリスクについて)		
活動	ADL (B. I.)	自立	介助	全介助	使用用具(杖、装具)、介助内容	短期目標	具体的アプローチ
	食事	10	5	0			
	移乗	15	10 ←	-監視下			
	座れるが移れない→		5	0			
	整容	5	0	0			
	トイレ動作	10	5	0			
	入浴	5	0	0			
	平地歩行	15	10←歩	行器等	歩行:		
	車椅子操作が可能 → 5		0	車椅子:			
	階段	10	5	0			
	更衣	10	5	0			
	排便管理	10	5	0			
	排尿管理	10	5	0			
	合計(0~100点)			点			
	コミュニケーション	理解 表出					

	評価	短期目標		具体的アプローチ			
	職業(□無職、□病欠中、□休職中、		]医療機関、				
	職業 (□無験、□前次中、□体離中、 □発館後退應、□足線機関、□発館後退應、□足線下で )						
45 An	経済状況:	無機、口痛火中、口供験中、					
参加							
職業(□無職、□海欠中、□体験中、□子の他 つを症後退職、□退職予定 ) 機能 業権 (中内容: 個職 で 世 の他 ) 復職 (四親職 で 世 の他 ) 復職 (四親職 で 世 の他 ) 復職 (四親職 で 日本の他 ) 復職 (四親 で 日本の他 ) 復職 で 別か に (一本の他 ) 復職 で 日本の他 ) 復職 で 日本の他 ) 復職 で 日本の他 (日本の本) (本の本) (本の本							
	7. (1113) (1 ) Pa ( 28) X (1) .						
		摂取栄養量:(目標: kc					
		体重増加/減量:(目標:	kg)				
		学姜斌公士注(海粉選坦司):					
			<u>'</u> )				
	嚥下調整食の必要性:		,				
栄養			7)				
(※)							
	□旭木後、□℃Ⅵ匝(	FCV/IE.					
一発症後退職、  旦職子定   20 機能・業権・仕事内容:   20 機能・業権・仕事内容:   20 機能・業権・仕事内容:   20 機能が ! 20 機							
	抑うつ:						
) =m	暗宝の否認・						
職務・業価・生事内等:  一級企産金融機関、口場職で定 ) 機能・業価・生事内等:  参加  経済状況:  社会参加(内容、頻度等):  会職活動(内容、頻度等):  会職活動(内容、頻度等):  母を型(( ) 如の 作車( ) 以及の	144 FT « > FT BPD.						
環境	同居家族:						
	親族関係:	1					
	10 do 40 do 11.						
	家屋:	1					
	家屋周囲・		年金				
	20/21/79 ptg •						
	交通手段:						
		退院後の主介護者					
	社会生活:	1					
第三	健康 Lの問題の発生・						
		· ·					
不利	心理的問題の発生:						
1 ). 🗏	#2 入院直後等で不明な場合は総提供栄養量でも可 抑うつ: 応理 に						
エカノ	1夜97日保:	本人の布望:					
		家族の希望:					
リハト	ごリテーションの治療方針:	I タ	外泊訓練計	画:			
	A CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR		THAM WALL	•			
退院	時の目標と見込み時期 :	L					
退院	後のリハビリテーション計画 (種類・頻度・期間):						

							Ì
							 ı
本人・家族への説明:	年	月	目	   説明を受けた人:本人、家族(	)	署名:	İ

説明者署名:

(リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション総合実施計画書記入上の注意)

退院後の社会参加の見込み:

- 1. 日常生活自立度の欄については、「「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」の活用について」(平成3年1 1月18日 老健第102-2号)厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知によるランクJ1, J2, A1, A2, B1, B2, C1又はC2 に該当するものであること。
- 2. 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準の欄については、「「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」の活用について」(平成5年 10 月 26 日 老健第 135 号)厚生省老人保健福祉局長通知によるランク I , II a , II b , III a , III b , II
- 3. 活動の欄におけるADLの評価に関しては、Barthel Index に代えてFIMを用いてもよい。
- ※ 回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定する場合は、「栄養」欄も必ず記入のこと(本計画書上段に管理栄養士の氏名も記入)